

ひろば



臨時号

※学校・家庭・地域は三位一体 「伝え合い、つながり合おう」～ともに学び、ともに育つ～※

2月1日付けの学校だより「ひろば」では、次のことをお伝えしました。

「今のクラス」「今の仲間」から、次に向かって…。



この1年間、学校生活を共にしてきたクラスメイトや担任の先生と過ごす時間も、残りわずかとなってきました。一緒に笑ったり、喜んだり、反対に、怒ったり泣いたり、もめたりと様々な出来事があったと思います。学校生活での様々な出来事が、子ども一人ひとりの「成長」につながっています。楽しいことばかりでなく、不満や不安もあったはずですが、これらのことをひっくるめて、次のステップに向けて、残りわずかな時間を「今のクラス」「今の仲間」とともに、大切に過ごしていきましょう！

3月22日の修了式まで、あと1カ月余りとなりました。学校は、「今」とともに、「次」に向かっても動き始めています。どの学年も、進級するにあたっての心構えなど、様々なことを子どもたちに伝えているところです。このような中で、保護者の皆様にも、来年度に向けてお知らせしておきたいことがあります。

令和6年度 学級数について(令和6年2月14日現在)

まず、「学級数」と「教職員数」について説明します。これらは、学校独自で決めるのではなく、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数に関する法律」等によって決められ配置されます。令和5年度は、1年から4年までは「1学級35人」、5・6年は「1学級40人」で教員が1人配置されました。令和6年度では、**1年から5年までが「1学級35人」、6年が「1学級40人」**で教員が1人配置されます。ただし、支援学級が「1学級8人」で教員が1人配置されるため、「1学級35人(40人)」は、支援学級在籍の児童数を除いた人数です。

次に、枚方市は、支援学級在籍の児童数も含めた「ダブルカウント」について説明します。例えば、ある学年の児童数74人の内訳が、「通常の学級の児童数が68人、支援学級の児童数が6人」の場合、この学年は国の基準で「2学級」となります（支援学級の児童数を除く68人に対して教員を2人配置）。しかし、枚方市では「ダブルカウント」をしているので、児童数74人に対し教員を3人配置するので3学級になります。

現在、令和6年度における各学年の児童数について、「1年が66人」「2年が67人」「3年が77人」「4年が70人」「5年が88人」「6年が76人」と見込まれており、各学年の学級数(予定数)は次の通りです。

■2学級：1年・2年・4年・6年

■3学級：3年・5年 ※ただし、3年は、枚方市の「ダブルカウント」による

児童数の減少により、学級数も減少することから、必然的に教職員数も減少します。だからこそ、これまで以上に、学年全体・学校全体で児童を組織的に見守り、支援・指導をしていきます。「チーム担任制」「教科担任制」等を取り入れ、学級担任だけでなく、**隣の学級担任が授業をしたり、担任以外の教師が授業をするなど**、年間を通して、計画的に、複数の教師が1つの学年全体を支援・指導する体制を整備します。